

2010 港区夏季テニス大会

主催 港区教育委員会
(財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (財)港区体育協会
主管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 堂山 幸男
ディレクター 岡山 静
レフェリー 柴田 典之
大会運営係 オリーブ

日時 2010年6月20日 9:00~17:00 小雨の場合は決行

会場 芝公園コート (オムニコート)
当日の連絡 090-1117-5121

種目 壮年男子ダブルス45
壮年男子ダブルス55

集合時間 【壮年男子ダブルス45】

No.2-3 6-7 12-13 16-17

の方は AM 8:50

No.4-5 8-9 14-15

の方は AM 9:20

上記以外の方は AM 9:50 までに受付を終了してください。

【壮年男子ダブルス55】

No.2-36 4-5 8-9

の方は AM 10:20

上記以外の方は AM 10:50 までに受付を終了してください。

試合方法 トーナメント戦 6ゲーム先取(5オール・タイブレークシステム) ノード・バンテジスコアリング方式
セルフジャッジ方式 コッソルがあります(天候等により変更する場合があります)

表彰 1~2位(表彰状・副賞)

その他

- ・試合球は主催者が試合球を用意する。
- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」に準じる。
- ・勝者はゲーム終了後、速やかにスコアカードを本部に届ける。

セルフジャッジについて(選手の義務)

・判定とコール

(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。

(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。

・カウントのコール(サーバーの義務)

新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。

・サービスのレット

レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとき判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)

・試合が終了したら

勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。敗者はセットボール(コッソルで使用)を持ち帰る。